

# 市民の立場に立った市政とは？その5

## 遅れている防災対策の見直し・・・防災軽視？

大雪が降りました。皆さんの地域では除雪対策は万全でしたでしょうか。あらゆる災害に備えるために「沼田市地域防災計画」が策定されていますが、今回はそれがどのように生かされたでしょうか。また、今後起きるあらゆる災害に、現在の「同計画」は対応できるでしょうか。検証してみたいと思います。

## 大震災後3年経過するのにいまだに防災計画の見直しせず

東日本大震災から3月で3年になります。震災から1年3か月後に「群馬県地震被害想定調査結果」が見直され、県北部でも大きな被害が想定されています。また、大地震だけではなく東電福島第1原発事故での放射能災害も経験しました。沼田市は、同じ形式でさらに大きい東電柏崎原発が、福島原発の2分の1の距離にあります。災害はいつ襲ってくるかわかりません。市民の安全を守るためには、これらの問題も追加して見直し、万全の備えが必要です。

しかし、星野市長は「見直しをしている」と言いながら、いまだに案も出てきません。地域防災計画は市民の安全を守るための柱になる計画です。見直し案は、パブリックコメントにかけべきであり、また、最後に決定をする「市防災会議」には、公募委員を参加させるべきです。

## 大雪の中、多くの市民が自発的に雪かきに参加！

しかし、防災計画で決められている「除雪対策協議会」は設置されず

14日、大雪警報が発令され、市街地でも1m近い積雪になるなど観測以来最大という大雪に見舞われました。沼田市でも15日午前6時に「沼田市災害対策本部」が設置され、市としてはできる限りの対策を講じ、除雪にも取り組んできたということですが、「地域防災計画」で行うことになっている「市道の除雪」



通学路の除雪を行う高橋場町氏子総代、昭和会、勇士会のみなさん

## 私立保育園長会と民生福祉委が懇談

沼田市内私立保育園5園の園長さんたちと沼田市議会民生福祉常任委員会との懇談会が、市役所内において、このほど開催されました。

国が進めている保育の新制度の実施や、各保育園において、困っていることなどの要望がそれぞれだされ、民生福祉常任委員会として、できるだけ要望に沿って取り組んでいくなどの話し合いがされました。



## 生涯学習フェスティバル 公民館まつりが開催されました

2月7日から9日まで、中央公民館で第20回生涯学習フェスティバルと第43回公民館まつりが開催され、たくさんの



柳波賞小中学生の部表彰者



社会教育功労者賞のみなさん

作品の展示や表彰式がおこなわれました。

は15、16日は幹線道路が精いっぱい、生活道路になっている市道の多くは、地域の市民がそれぞれ参加して、車が通れるほどの除雪を行いました。

防災計画には、市街地の降雪で交通等に支障のある時は、市、警察、消防、建設・交通・運輸業者、町内会等をもって「除雪対策協議会」を設置して、住民の協力を得て除雪作業を実施することになってはいますが、「協議会」は設置されませんでした。しかし、多くの市民が自発的に除雪に参加しました。「防災計画」に決められていることを実施しないのは、「防災計画」を軽視していると考えざるを得ません。市の「防災計画」は全市民のもので、どんな時でも、市民を信じ、市民参加で事態を解決するという姿勢が必要なのではないでしょうか。

2014年2月23日 691

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎ 23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料